2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　イーソル株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4420　　ＵＲＬ　https://www.esol.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長CEO兼CTO　　（氏名）権藤　正樹
問合せ先責任者　（役職名）社長室長　　（氏名）落合　藤夫　　ＴＥＬ　03-5365-1560

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	9,090	5.4	51	△85.5	171	△56.7	△4	－
2025年12月期第３四半期	8,627	△2.0	357	△57.9	397	△55.5	265	△60.7

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　234百万円（△0.5%）　2025年12月期第３四半期　236百万円（△44.6%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△0.23	－
2025年12月期第３四半期	13.97	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,026	6,042	75.3
2025年12月期	8,192	5,906	72.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　6,042百万円　2025年12月期　5,906百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	1.50	－	4.00	5.50
2026年12月期	－	1.50	－		
2026年12月期（予想）				－	1.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,403	18.7	956	17.3	1,076	24.6	467	△21.8	23.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　1社　（社名）T LEAD SCIENCES株式会社、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	20,000,000株	2025年12月期	20,000,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	280,260株	2025年12月期	299,669株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	19,711,713株	2025年12月期３Ｑ	19,003,450株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（追加情報） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における、当社グループの組込みソフトウェア事業の主要取引市場である自動車市場では、自動車が単なる移動手段ではなく、社会インフラの一部に変わりつつある中で、次世代のSoftware-Defined Vehicle（ソフトウェア定義型の自動車）の開発が急務であり、同市場は大きな変革期にあります。また、自動車や医療分野を中心に、安全技術への需要が高まっており、機能安全規格の認証取得が求められる傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは自動車市場をメインターゲットと位置づけ、「フルスタックエンジニアリング」（注）を提供し、機能安全規格の認証取得を進め、さらに、当社製品に対する研究開発への投資を引き続き行ってまいりました。また、センシングソリューション事業がメインターゲットの１つとしている食肉市場並びに倉庫・物流業界に対し、車載プリンタ並びにハンディターミナルの拡販を進めました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高9,090百万円（前年同期比5.4%増）、研究開発への投資を行い、営業利益51百万円（同85.5%減）、経常利益171百万円（同56.7%減）、特別損失としてMBOにかかる公開買付関連費用を計上し、法人税等の計上などにより、親会社株主に帰属する四半期純損失４百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益265百万円）となりました。

（注）ソフトウェアシステムの基盤層であるOSから、ミドルウェア、プラットフォーム、アプリケーション、そしてツールとプロセスまでの全ての階層を統合してエンジニアリングを行うこと

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

（組込みソフトウェア事業）

当事業は、フルスタックエンジニアリングの提供として、幅広い分野における電子機器向けの自社製ソフトウェア製品リアルタイムOS（オペレーティング・システム）の開発・販売、エンジニアリングサービスを主に行っております。この結果、売上高8,782百万円（前年同期比6.6%増）となりましたが、研究開発への投資やエンジニアリングサービスにおける不採算案件の発生などにより、セグメント利益89百万円（同76.2%減）となりました。

当セグメントの売上高の内訳としては、ソフトウェア製商品は1,570百万円（前年同期比46.2%増）、エンジニアリングサービス等は7,211百万円（同0.6%増）となりました。

（センシングソリューション事業）

当事業は、冷菓・冷凍食品市場、食肉市場及び物流市場において、車載プリンタやハンディターミナルの販売、センサネットワーク関連ビジネスを進めましたが、ハードウェア製商品にかかるエンジニアリングサービス及びハンディターミナルの販売が前期比で減少し、その結果、売上高307百万円（前年同期比20.3%減）、セグメント損失37百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は6,016百万円となり、前連結会計年度末に比べて299百万円減少いたしました。これは主にその他の流動資産が171百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が454百万円、現金及び預金が108百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,009百万円となり、前連結会計年度末に比べて132百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が170百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、8,026百万円となり、前連結会計年度末に比べて166百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は1,691百万円となり、前連結会計年度末に比べて251百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が226百万円減少したことによるものであります。固定負債は291百万円となり、前連結会計年度末に比べて51百万円減少いたしました。これは主にその他の固定負債が51百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,983百万円となり、前連結会計年度末に比べて303百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は6,042百万円となり、前連結会計年度末に比べて136百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が242百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年９月１日に公表いたしました「2026年12月期　通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,191,517	3,082,690
受取手形、売掛金及び契約資産	2,722,460	2,268,111
商品及び製品	149,207	156,815
仕掛品	61,745	146,700
その他	190,883	362,064
流動資産合計	6,315,814	6,016,383
固定資産		
有形固定資産	220,690	311,295
無形固定資産		
のれん	444,451	410,263
技術関連資産	123,629	114,119
その他	75,192	50,406
無形固定資産合計	643,272	574,788
投資その他の資産		
投資有価証券	698,198	868,852
繰延税金資産	4,319	4,373
その他	310,321	250,315
投資その他の資産合計	1,012,839	1,123,541
固定資産合計	1,876,802	2,009,625
資産合計	8,192,617	8,026,009
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	572,951	479,911
１年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
未払法人税等	235,638	8,717
賞与引当金	70,125	277,138
受注損失引当金	2,028	－
資産除去債務	16,980	－
その他	1,015,868	895,879
流動負債合計	1,943,593	1,691,646
固定負債		
長期借入金	67,500	45,000
繰延税金負債	51,688	60,824
資産除去債務	125,702	139,225
その他	98,129	46,416
固定負債合計	343,019	291,466
負債合計	2,286,613	1,983,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,041,818	1,041,818
資本剰余金	993,036	993,634
利益剰余金	3,841,854	3,728,873
自己株式	△152,597	△142,722
株主資本合計	5,724,111	5,621,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,259	405,329
為替換算調整勘定	18,633	15,963
その他の包括利益累計額合計	181,893	421,292
純資産合計	5,906,004	6,042,896
負債純資産合計	8,192,617	8,026,009

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,627,014	9,090,035
売上原価	6,141,478	6,524,260
売上総利益	2,485,536	2,565,774
販売費及び一般管理費	2,128,509	2,513,999
営業利益	357,027	51,775
営業外収益		
受取利息	3,106	7,348
受取配当金	4,072	6,829
持分法による投資利益	－	23
助成金収入	5,910	62,191
設備賃貸料	9,386	10,444
保険解約返戻金	18,568	25,789
その他	3,976	9,361
営業外収益合計	45,021	121,989
営業外費用		
支払利息	－	789
為替差損	4,995	1,132
その他	0	10
営業外費用合計	4,995	1,932
経常利益	397,052	171,831
特別利益		
投資有価証券売却益	7,655	－
特別利益合計	7,655	－
特別損失		
固定資産除却損	1,808	1,490
投資有価証券評価損	699	－
公開買付関連費用	－	252,761
特別損失合計	2,508	254,252
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	402,199	△82,420
法人税、住民税及び事業税	179,708	24,516
法人税等調整額	△42,948	△102,337
法人税等合計	136,759	△77,820
四半期純利益又は四半期純損失（△）	265,439	△4,599
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	265,439	△4,599

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	265,439	△4,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,226	242,069
為替換算調整勘定	3,835	△2,670
その他の包括利益合計	△29,390	239,399
四半期包括利益	236,048	234,799
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,048	234,799

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

当社は、2026年９月１日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト（ＭＢＯ）（注）の一環として行われる株式会社BCJ-110（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、賛同する旨の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨する旨の決議を行いました。

なお、当該取締役会決議は、公開買付者が、本公開買付け及びその後の一連の手続により当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細については2026年９月１日公表の「ＭＢＯの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」及び、2026年９月11日公表の「（訂正）「ＭＢＯの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）「マネジメント・バイアウト（ＭＢＯ）」とは、公開買付者が対象者の役員である公開買付け（公開買付者が対象者の役員の依頼に基づき公開買付けを行う者であって、対象者の役員と利益を共通にする者である公開買付けを含みます。）をいいます（東京証券取引所有価証券上場規程第441条）。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	59,218千円	92,102千円
のれんの償却額	－千円	34,188千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ．前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	8,240,693	386,320	8,627,014
ソフトウェア製商品	1,074,310	－	1,074,310
ハードウェア製商品	－	386,320	386,320
エンジニアリングサービス	7,166,383	－	7,166,383
その他の収益	－	－	－
外部顧客への売上高	8,240,693	386,320	8,627,014
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	8,240,693	386,320	8,627,014
セグメント利益又は損失（△）	374,358	△17,331	357,027

２．報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ．当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	組込み ソフトウェア事業	センシング ソリューション事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	8,782,115	307,920	9,090,035
ソフトウェア製商品	1,570,524	－	1,570,524
ハードウェア製商品	－	307,920	307,920
エンジニアリングサービス	7,211,590	－	7,211,590
その他の収益	－	－	－
外部顧客への売上高	8,782,115	307,920	9,090,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	8,782,115	307,920	9,090,035
セグメント利益又は損失（△）	89,106	△37,331	51,775

２．報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（重要な後発事象）

（株式会社BCJ-110による当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動）

株式会社BCJ-110（以下「公開買付者」といいます。）が2026年９月２日から実施しておりました当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）が、2026年10月19日をもって終了いたしました。本公開買付けの結果、2026年10月26日（本公開買付けの決済の開始日）をもって、当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に異動が発生しました。

詳細については、2026年10月20日付で当社が公表した「株式会社BCJ-110による当社株式に対する公開買付けの結果並びに親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

１．本公開買付けの結果について

当社は、2026年10月20日付で、公開買付者により、「イーソル株式会社（証券コード：4420）の株券等に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」に記載のとおり、本公開買付けの結果についての報告を受けました。

なお、本公開買付けに応募された当社株式の数の合計が買付予定数の下限以上となりましたので、本公開買付けは成立しております。

２．親会社及び主要株主である筆頭株主の異動について

当社は、2026年10月20日付で、公開買付者より、本公開買付けに対して当社株式12,759,681株の応募があり、応募された当社株式の総数が買付予定数の下限（10,535,800株）以上となり、本公開買付けが成立したことから、その全てを取得することとなった旨の報告を受けました。

この結果、2026年10月26日付で、当社の総株主の議決権に対する公開買付者の所有する議決権の数の割合が50%を超えることとなるため、公開買付者は、新たに当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなります。これに伴い、公開買付者の完全親会社である株式会社BCJ-109も、公開買付者を通じて当社株式を間接的に所有することとなるため、当社の親会社に該当することとなります。

一方、当社の主要株主である筆頭株主であったイーソル従業員持株会は、同日付をもって、当社の主要株主である筆頭株主に該当しないこととなります。

（株式併合、単元株式数の定めの廃止及び定款の一部変更）

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、2026年12月10日開催予定の臨時株主総会（以下「本臨時株主総会」といいます。）を招集し、第１号議案「株式併合の件」及び第２号議案「定款一部変更の件」をそれぞれ付議することを決定いたしました。

なお、当社は、本臨時株主総会において株主の皆様からご承認いただくことを条件として株式併合を実施し、その結果、当社株式は株式会社東京証券取引所の有価証券上場規程に定める上場廃止基準に該当することとなり、2026年12月10日から2027年１月３日までの間、整理銘柄に指定された後、2027年１月４日をもって上場廃止となる予定です。

詳細については、2026年11月12日付で当社が公表した「株式併合並びに単元株式数の定めの廃止及び定款の一部変更に関する臨時株主総会開催のお知らせ」をご参照ください。

（自己株式の消却）

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

詳細については、2026年11月12日付で当社が公表した「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照下さい。